

14.5

52

14. 5-53



1200501212838

彙報別冊  
第九十三号

ソヴイエット聯邦の近状

秦彦三郎著



始





14.3  
53

ソヴィエツト聯邦の近狀

昭和十一年七月

彙報別冊第九十三號

全國經濟調查機關聯合會



145-53

ソヴィエツト聯邦の近状

同人 寄贈本

(昭和十一年七月十七日於第七十八回東京支部會)

陸軍省新聞班長 秦彦三郎氏  
步兵大佐

私大變話下手でございます。實は今晚は十人か二十人のお集りで座談會の積りで参つたのであります。所が御覽の如く多數お集りを願ひまして、誠に光榮と存じますると同時に系統立て、別にお話申上げることもないのであります。今迄各所で講演を致しました其の後、色々な御質問がありました、其の質問を資料と致しまして、今晚お話を申上げたいと思ひます。尚ほお暑い時節柄ごく簡単に申上げます。後で時間のある限り御質問に應じてお答を申上げたいと思つて居ります。

第一は現在のソ聯邦に於きましては共產主義を實施してゐないと云ふことをしつかり頭に入れて戴きたいのであります。従來ソ聯邦は共產主義の國であると思ふことが一般の先入主になつて居りました。従つて今からお話申上げることが往々にしてお解り難い點が多々あらうと思ふのであります。而して此の共產主義を實施してゐないと云ふことは私一人の極端な判断でも何でもないのであります。是は政府當局も屢々言明して居ります。即ち共產主義なるものは我々の理想である、此の理想に到着する一過程として現在社會主義的政治經濟機構の完成に努めてゐるのである。是が完成を見た曉に於て我々の理想とする所の共產主義に進むのだと斯う云つて居ります。又先程發布されました憲法改正草案に於きま





ても、是等の點を極めて各所に明瞭に指示して居るのであります、即ち現在のロシア社會主義國家であると云ふことを示して居ります。又或る頃には各人は其の働きの量と質に應じて、之に應ずる所の報酬を受けるのだと云ふことも明示して居るのであります。従て現在のロシアに於きましては、共產主義の原則であります所の分配の公平と云ふことは何處を探しても一つもないのであります。従て先程申上げました如く各人は其の能力、其の経歴、其の職務に應じてそれ相應の俸給を貰つて居るのであります。此の關係は我々の社會と何等變つて居りません。軍隊にしても元帥から下は兵士に至る迄階級別によつて報酬を受けるのであつて、是は我々と同様であります。又銀行會社工場に於きまして、所謂支配人から下は小使に至る迄の間各種の階級を設けて居りまして、それに應ずる所の俸給を貰つて居るのであります。又其の職務振りに於きまして、我々の社會と何等變つた點はないのであります。唯大きな違ひは是は個人資本の介在を許さない、個人資本の活動は之を如何なる形式に於ても、之を許さないと云ふことが非常に違つて居る點であります。従て銀行會社に致しますれば此の會計と云ふものは我々の社會の銀行會社と何等の變りもありませんが、そこに株主と云ふものは一人も居らぬ、斯うお親ひ下さいましたならば、大體の御見當がつくのではなからうかと思ひます。従て各人と云ふものは自分の俸給を貰つて、それを貯金しようと思つて居りまして、寧ろ現在の情勢に於きましては、政府は各人の貯金を極度に獎勵を致して居ります。従て自分の俸給を何程貯金してもそれは構はないのであります。又一方に於きましては、年々數十億の國債も發行して居ります、是も寧ろ強制的に各人が買はされて居ります。又其の利子も一割近くにもなつて居りまして、其の點に於きまして我々と何等變つて居りません。唯個人の所有と云ふのは先程申上げました如

く、此の勤勞所得の蓄積と——家屋と云ふものは既に官有でありますから——、室内の裝飾品や自分の身廻り品と云ふものが是が個人の財産として許されて居るのであります。唯農民になりますと自分の屋敷内で鶏を飼つたりすると云ふことは許されて居る。是等から生ずる所の卵等は自分で賣り、或は自分で攝取することが許されて居るのであります。私有財産と云ふものは所謂日本で云ひますと、動産の範圍に限定せられて居る點が是亦違つて居る。要するに語を換へて申しますると、上はスターリンから下は労働者農民に至るまで所謂サラリーマンと化した譯であります。一口に言へば是が現在のロシアの情勢を示したものであります。

其の次には現在の勞農政府所謂ソヴェット社會主義共和國聯邦と云ふものは有史以來未だ曾てない所の強力な政府であると云ふことであります。是は從來我々が考へて居りました獨裁政治は所謂權力の獨裁でありましたが、現在のロシアの獨裁は權力と金力との獨裁であると考へるのであります。即ち政府は國家の全權力、全資源、全金力と云ふものを全部自分の一手に握つて居るのであります、只今申上げました如く民間に介在して居るものは僅か個人の俸給の蓄積並に身廻り品と云ふ以外は全部國家が握つて居るのであります。従て斯の如く所謂現在の流行言葉で言ひますれば、極端なる統制經濟を行つて参りますと、一國の經濟の建前が丁度我々個人の家の經濟に非常によく似て來るのであります。即ち一億數千萬の人民なるものは結局此の政府から見れば是は自分の家族であり、居候であるのであります。是等の家族居候が寢て居つても、遊んで居つても、兎も角食はなくちやならぬ。又是等の家族、居候に食ひたいだけ食はせ、飲みたいだけ飲ませて居つては、一家の經濟が成立しません。ましてや現在彼等は社會主義的の機構の建設に邁進して居る次第であります



からして、より一層此の家族の費用——無駄と云ふものを省かなくちやならぬ立場になつて居るのであります。さうして彼等は今日迄の経過を見て居りますと、自分の家族、居候の無駄を省き、成るべく是等に金を使はせない、即ち自分の子供に食ひ物を十分與へず、着る物も着せず、又慰安も與へず、さうして其の餘力を以て是迄建設事業に従事して來たのであります。従來而も此の政府が建設事業をやるに當りましては所謂重點を構成致しまして、さうして各個擊破の原則によつて一々ものを解決して來たのであります。

従來ロシヤを旅行され或は通過されたり、短期間視察をされた方のロシヤに對する感想なんかと云ふものは極端に二つに分れて居ります。或る者は非常にソヴェット聯邦は立派な國である、恐しい國だと云ふ感想を有つて歸られる、他の一つは非常に悲觀的の觀察を有つて歸られるのであります。私等は何處へ行きましても、さう云ふお話を聞いて一體どれが本當か我々は分らぬと言はれるのであります。従來是等の二つの感想と云ふものは私は決して其の本人は嘘を言つて居られないと思ふのであります、と申しますのは先程申上げましたる如く政府は重點を構成して仕事をやつて居る、從て政府が重點を施行して居る點を見ますと、何しろ世界の六分の一の凡ゆる資源を有つて居るロシヤのことでありまして、此の力が一手に集中して參りますと非常に力が出て來るのであります。何れの國にも一寸見ることの出來ない有様がそこには現れて參ります。此の表面だけを見て歸られた方は樂觀説と云ふか、寧ろ恐しいと云ふ感じを有つて歸られるのであります。所が政府が——私等の言葉で申します非攻撃正面を御覽になりますと、是は極めて悲惨であります、是だけを見て歸りますと、ロシヤに對してどうしても悲觀説が出て來る譯であります。而も先程申上げました如く此の非攻

擊正面即ち政府が閉却して居つたと云ふ正面は終始一貫して人民の生活、個人の生活であつたのであります。従つて我々が事實彼の地に居りまして、悲觀的の材料が眼に付く。それは自分の日々の生活に影響して參ります。例へば卵を買ひに行く、今日は卵は一つもない、自分は苦痛を感じる。今日は何か必要なものがあつたから買ひに行くとなし、直ぐ外國へ電報を打つて取寄せると云ふことが毎日の生活に現れて參りますからして、どうしてもロシヤに對しては悲觀的材料を體驗することは割合あります。

之に反して政府の重點を構成して居る點は今相當眼に見えて參りましたが、以前に於きましてはさう度々眼に付かない。従つて政府の重點構成の方面に對しては看過し易いやうな状態にあつたのであります。

其の次は、先程會の幹事の方からお話がありました、最近ロシヤが何が故に國力が進展して來たかと云ふことに付て一言申上げたいと思ひます。

先程申上げました如く、現在のソ聯邦は所謂權力、金力を掌握したる所の非常なる強力なる政府であると云ふことを申上げましたが、此の政府とても、革命直後から斯の如く力強い政府ではなかつたのであります。彼等が實際の獨裁的政治機構、經濟機構を完成致しましたのは極く最近のことでありまして、其の點に付てもう少し御説明申上げますと、革命のなるや彼等は所謂資本家財閥と云ふものは片端から叩き出しまして、さうして銀行、會社、工場其他の生産手段と云ふものを手に入れたのであります。

又土地に對しましては貴族地主を放逐致しまして、全部の土地を國有に致しました。



所が向ふの九割以上を占めて居ります所の農民に對しては自分等の政策と違つた經濟組織を許したのであります。即ち農民に對しましては自作農を許したのであります。是が十數年間ソ聯邦政府が非常に惱んだ唯一の原因であります。申上げます迄もなく、自作農即ち是は性質上資本主義的の經濟機構であります。従つて政府は之を放置して置きますと、政府とは反對の方にとん／＼發達して行く。又一方政府は自分の政策を實行する上に於きましては、農業國であります所のロシアとして、政府は農産品を取上げて之に依つて政策を實行せなければならぬ建前になつて居ります。所が其の農産品と云ふものは全部農民の掌中にある、政府の統制に服しない。唯政府は公定相場を定めて之を買上げるか或は租税の形式に依つて之を取上げる。或は已むを得ない場合には徵發をやつて取上げる、斯う云ふことをやります。之に對しまして農民は終始一貫消極的の抵抗を續けて來たのであります。即ち彼等は賣惜しみをする、又之を彈壓すれば耕地面積を減らす政府では已むを得ず之を解除する。すると農産品は殖えて参りますけれども、一方農村と云ふものは資本主義的に發達して來る。従つて政府は農村に對して、彈壓、懷柔と之を繰返して一九二八年頃迄來たのでありまして、丁度私最初参りました時が昭和元年であります、新經濟政策を止めて、さうして愈々本格の事業に移らうと云ふ時でありました。その時には、レーニンの死後トロツキイ一派との共產黨の内訌問題も起つて居りましたが、是も二七年の末になりますと大體梟が付きました。さうして御承知の如く二八年から第一次五箇年計畫に入り込んで來たのであります。その當時私共は當時の老大なる所の第一次五箇年計畫と云ふものはどうして之を現在のロシアに於て達成するか、之を達成することは不可能であると云つて其の翌年笑つて歸つた次第であります。要するに革命後十箇年と云ふものは政府は建設事業を何等すること

も出來ず、唯資本主義的經濟機構の破壊一點張りに進んで居たのですか、愈々二八年から第一次五箇年計畫に入つたのであります。所が茲に一つの障壁が起りましたことは結局農産品の處分であります。第一次五箇年計畫を實行する上に於きましては、どうしても外國から機材を買はなくちやならぬ。之を決済するには農業國であるロシアに於ては農産品を以てするより外に方法はない、政府の建設事業をやる上に於て之に従事する所の労働者に與ふべきものも、大きい所ものは食糧品である。所が是等食糧品は先程申上げた如く、全部農民の所得であり政府の統制下に入るので中々思ふやうに自分の建設事業が出來て参りません。そこで彼等は斷乎として茲に農産品を自分の統制下に入れると云ふことに邁進したのであります。即ち彼等は是がために農村の社會化即ちコルホーズ譯しまして集團農の形式を僅に一年の間に全國農村に亘りまして強行したのであります。此のコルホーズに付て申上げますとあるのであります、是は省略致します。コルホーズは結局農村の工場化であります。即ち今迄自作農をやつて居りました所の各農民は今や此のコルホーズになつてから農園に通ふ一労働者と變化したのであります。所謂語を換へて申しますれば日傭取りになつた、月給取りになつたのであります、コルホーズ農園で生じます所の總ての農産品と云ふものは政府の統制下に入り農家の手に何も残らないことになつたのであります。此の政策は第一次五箇年計畫を完成した唯一の原因でありまして、其の結果農産品の全部が政府の統制下に服することになつた。そこで政府は此の苦しい建設事業を行ふ上に於きまして先程申上げました家族居候の食ふだけのものは食はせ、着るだけのものは着せ、併し飲みたいだけのものを飲ませず、是等の最低限度に其生活の限定をしたのであります。是が爲に切符制度を設けまして、國民の食料を制限をし、又輕工業方面には少しも力を入れませんか、



着物もなければ、その他日用品もなく、それでも構はないと云ふ強行政策をやつて、其の餘力と云ふものは全部建設事業に集中して行つたのであります。其の結果國民の生活と云ふものは極端な點まで走つてしまつたのであります。丁度私が先程申上げました如く、第一次五箇年計畫の始まると云ふ前年の初めに内地に歸りまして、其の翌年——一年餘りばかりこつちに居りまして再びポーランドの方に赴任をしたのであります。その時は又モスクワに寄りまして滞在を致しました。此の一年間に於きましてモスクワに於ける國民の生活は非常に變つて居りました。以前は相當の生活をして居つた人間も居りましたが、今度行つて見ると、食糧も制限せられひどい風をして居る。店に致しましても大部分の店が封鎖されまして、假令開いて居りましても、その商品も極く少く、食料品店に参りましても欲しいだけのものは何も賣つてくれなると云ふやうに變つて居りました。さう云ふやうな有様を見てポーランドに参りました。爾來彼の地にありまして、文書其他でロシヤの建設事業が其の後非常に進歩して居ることは承知して居りましたが、直接見る機会がありませんでした。丁度日本に又轉任を命ぜられた際に、もう一度ロシヤを見ようと思ひまして、彼の地を約一箇月半ばかり旅行を致しました。此の時にありますと、政府の建設事業と云ふものは各所に芽を吹いて居りました。あちらにもこちらにも見たことがなかつた工場がどん／＼出来てゐて煙を吐いてゐる。是が僅か二箇年半の間に斯の如く大きな仕事はどうして出来たかと實は自分を見て驚いたのであります。又一方此の國民の生活を見て居りますと、其の當時は全く極點に達して居りまして、先程申上げた如く、食糧は制限される、着る物もなく、ボロを着て、跣足で歩いてゐると云ふ人間が非常に多かつた。斯の如き悲壯な状況では以上強行政策が何時迄續くものであらうかと云ふことを感じて實は歸つたのであり

ます。是は五箇年計畫の最も猛烈な時代であつたからであります。それから内地に數箇月ばかり居りまして、更に今度モスコに行つて見ますと、今度第一停車場に着いて感じたことは僅か一年足らずの中に國民の生活が非常に變化を來してゐる。今度は非常によくなつて居りました。それから歸りますまで、二年餘ばかり國民の生活と云ふものは目に見えて日に月によりなりつゝあつたのであります。現在に於きましては先程も御質問がりましたが、以前よく店屋の前に長い列を組んで物を買つて居ると云ふことを聞きましたが——又實際さうありましたのですが、是等のことは今や昔話と化してしまつたやうな次第であります。是は何故かと申しますと先程申上げました如く第一次五箇年計畫が出来上る迄と云ふものは殆ど食物も十分興へられず、ましてや着る物もなく、履く物もなく極端に塗炭の苦しみを受けたのであります。此間政府は國民に對して兎も角第一次五箇年計畫の間は苦しい、併ながらそれが濟んで第二次計畫に入つたならば生活は樂になるのだよくなるのだと云つて國民を引張つて來た建前もありましたし、而も國民の生活は先程申上げました如く窮乏の極限に到達した。又第一次五箇年計畫が強行手段に依つて終了致しまして、是以上強行政策をやつて、さうして必要な物資を買ふ必要の度と云ふものは又非常に減つて來た譯であります。是等のことで旁々政府は第二次になりまして、直ちに政策を變更致しまして、ロシヤで出来る所の農産品と云ふものは大部分國民に食はずと云ふことに政策を變更したのであります。其の結果元來農業國であるロシヤに於て農産品の足らぬはずはありません。人民は漸く之に依つて自分の食ひたいだけのものを食ひ、欲しいだけのものを買ふことが出来るやうになりました。従つて從來切符制度で制限致して居りました所の食糧制限策も必要がなくなり、是は廢止されることになつたのであります。現在に於きましては食糧品に



關する限り何等の不自由は感じないやうになつたのであります。又一方に於きましては政府は第二次五箇年計畫に於きまして、國家の重點と云ふものを輕工業の方に施行致しました結果被服も出來、コップも出來ると云ふやうに段々日用品が殖えて参りました其の結果國民の生活と云ふものは第一次五箇年計畫當時に比しまして、日に月によくりました。漸く人民も安堵の色を現すやうになつたのであります。最近に於きますると第一次五箇年計畫並第二次五箇年計畫の發達に連れまして、工業生産品の生産額も殖えて、一方に於きましては農産品と云ふものは全部政府の統制下に服して参りましたので、政府の収入と云ふものも段々殖えて來たと云ふやうな有様になつたのであります。

もう一つ、茲に彼等が非常に便利になつて参りましたことは商業機關の一元化、是は革命と同時に商業機關と云ふものは全部政府の統制下に入れて配給をやつたのであります。巧く行かず配給の圓滿を缺くに至り、非常に人民が困つたのであります。そこで或る時期に於ては個人商人を許したのであります。個人商人を許せば結局配給の圓滿と云ふことが得られますが、個人商人即ち資本主義的の經濟機構でありますから、之を放置して置きますと、先程農村に付て申上げました通り、段々資本主義の通りに發達して來る。己むを得ず政府は彈壓をする、彈壓すれば配給は圓滿を缺く。斯う云ふ風な關係で、農村に對すると同様幾多の變遷を経たのであります。昨年末には是等商業機關を一元化することに成功したのであります。現在に於きましては、先程申上げました如く生産品・農産品・商業機關此の三つをしつかり政府が握ることに成功したのであります。是は今日非常なる所の發達の途に付いた原因でありました。或は政府と致しましては、此の三つの經濟機構に依りまして、より一層重點の構成が樂になり、より一層迅速なる進歩、國力進展を示し世界に雄飛するのではなからうかと思つて居ります。

次は、最近の内政上大きな問題は、行政機構の改善と憲法の改正と、此の二つの問題でありました。從來ロシアの行政機構は所謂ソビエト式である、即ち會議制を採用して居つたのであります。工場ならば工場長・事務員・労働者を加へた一つの會議を設けて、之に依つて動かす。學校に致しますれば校長・職員・生徒斯う云ふ者で一つの會議を作つて總て學校の管理をやつて行く。軍隊に於きましては、革命軍事會議と云ふものを設けまして、之に依つて總ての重要な問題を解決する。各省に於きましては大臣次官局長を加へた所の一つの參與官制度を設けまして、是で同等の權利を以て各位が重要議案を決定すると云ふやうなことになつて居りました。所が此の獨裁政治を實行致しまする上に於きまして、只今の制度と云ふものは極めて不自然であることは明瞭であります。そこで彼等は、從來是等の會議の實際の運用はやつてゐなかつたのであります。昨年度に於きまして、名實共に獨裁機構を完成する爲には是等の會議制度を全部廢止致しました。各省は——外務省は外務大臣を以て、陸軍省は陸軍大臣を以て、農林省は農林大臣を以て一つの——唯一の命令の長と致しました。此の一條の命令に依つて、總ての者が動くことに變りました。學校に於きましては學校長、工場に於きましては工場長、銀行會社に於きましては其の支配人、斯う云ふやうに命令系統を一元化致しました。併し又、彼等の獨裁政治を實施致しまする上に於きまして非常に便利になつて來たのであります。

其の次は憲法の改正問題でありますが、是は私が内地へ歸つてから發布されました。爾來此の問題に付きまして相當論議されて居りました。尤も此の内容に付て相當期待を有つて居つたのであります。蓋を開けて見ますと、ロシアに住



んで居りました時分から見まして何等新しいものがないのであります。従来行つて居りましたことを成文化したと云ふに過ぎませぬ。唯茲に一つ大きな改正は、従来は政權參與の率が労働者に厚く農民に薄かつたのであります。是は先程申上げました如く、革命と同時に、工場其他と云ふものは全部政府が握つた關係上、労働者は政府の事業に參與して居りましたが、之に反して農民は先程申上げた如く、自作農であり直接政府の事業に參與して居らなかつたと云ふ國民でありましたが、先程申上げました通り、コルホーズ化されましたは亦直接政府の事業に參與すると云ふので、茲に農民と労働者の區別を設けることが出来なくなつて來たのであります。それが爲め、今度の憲法に於きましては、此の農民と労働者に同等の權利を與へたと云ふ點が大きな相異であると思ふのであります。又その他、之に附屬致しまして憲法が改正されました。之に對して、内地の新聞では、ロシヤはデモクラシイになつたと云ふことの批評を見ましたが、是はまつかな嘘でありまして、是は決してデモクラシイでも何でもないのであります。その次の條項に書いてありますが、候補者を推薦する權利を有つて居りますのは労働者、共產黨、労働組合等が矢張り有つて居るのであります。所謂今迄と同じく是は官選の候補者を出すのであります。官選候補者に對して各人が投票すると斯う云ふ形であります。今までは唯此の官選候補者に對して同意とか不同意のものは起立であるとか、手を舉げるとかして決定してゐたのを無記名投票とすると云ふだけでありまして、是はロシヤの現在と致しましてはどうしても離すことの出来ない問題でありますからして、苟くも勝手に候補者が推薦されたのちや、現在の方針を維持し現在の政治機構を維持することが出来ないものでありまして、是は全く當然のことではありますが、此の點が兎に角日本あたりで閉却されて居るやうであります。

それから最近に於ては、ロシヤに於ても信教の自由を許したと云ふやうなことが書いてありますが、是も全くだまし物である。従來からの憲法に於きましても信教の自由は認めて居つたのであります。但し宗教を宣傳することは許されてゐない。で自分自身で宗教を信するのはいゝが、人に布教することを許さなかつた。今度は信教の自由を許すと同時に宗教を宣傳することを許した。反宗教の方は宣傳してもいゝが、宗教を信じてもいゝが宣傳は出来ない。依然として宗教と云ふものに對して反對の立場を取つて居ります。併ながら是は私は將來非常に緩和されるものだと思つて居りました。宗教に對して、従來ロシヤは非常に壓迫を致しました原因は、其の主義上からは素よりでありますが、もう一つの大きな原因は、元來帝政時代と云ふものはロシヤは宗教一致でありました。従つて帝政時代の總てを破壊せんが爲には先づ宗教と云ふものを先づ破壊する必要があつたのであります。是が爲め猛烈に宗教壓迫をしたのであります。實際問題として見ると、寺院其他と云ふものは大變潰ぶされましたが、田舎に入りますと昔と何等變つて居りませぬ。依然として所謂宗教を信じて居るのであります。是も横道でありますが、従來はクリスマストリーを樹てることを嚴禁して居りました。所が昨年の暮から之を許すことになりました。併し是はクリスマストリーとは申さないでソヴェットの木であるとして云ふことと同じことをやらせることにして居るのであります。従來の方面に對してはさう壓迫せず自然の儘に放置するのではな

いかと思つて居ります。

それから先程も御質問がありました。教育の問題であります。是も最近ロシヤは非常に力を入れて來た一つの歴史があります。一言に申しますると各種の教育制度はありましたけれども、實際政府が重點を今日迄執行して居りましたのは



青年壯年の補備教育であります。是は御承知の如く帝政時代には人口の九十パーセント近くは字の書けない者があつたのであります。そこで革命後政府は、若い者に對する無學の者を退治する。之が爲教育方面にはどつちかと申すと重點を置いて來たのでありますが、最近になりまして、所謂本格的の教育を始めることになりました。從來小學校に於きましては要するに日本あたりの如く理科とか地理とか歴史とか云ふ科目を分けることなく一つのコップならばコップに就てこれに關聯する總ての教育をすると云ふ珍しい教育方法をやつて居りました。所が是等の教育と云ふものが結局駄目だと云ふことになりまして、最近に於きましては日本あたりでやつて居りますと同様、地理、歴史、圖書とか色々な科目を設けまして、各科目毎に教育を開始して居ります。丁度去年の夏モスクワの市だけで三階造りの立派な小學校が七十八校造られました。是は一寸私共びつくりしまして、一年たゝないうちに七十八校を一遍に造つてしまひました。當時街を散歩致しましても主だつた所には掲示板が出て居りまして、そこにあの學校は何パーセント工事が濟んだと云ふてそれにはんこをつけてまして、さうして非常に競争さして去年の中頃迄に全部造つてしまひました。都會に於て漸く造つたと云ふ程度でありまして、さうして地方にはまだ及んでゐないと云ふことは明瞭であります。兎も角教育に於きまして一番彼等が困つたのは歴史の教科書であります。理科なり地理なりと云ふものは外國のものを翻譯して其儘ロシアに適應するのでありますけれども、歴史だけはどうする譯にも行かぬ、外國の歴史では間に合はない。ロシア獨特のソヴェット聯邦に向く所の歴史の教科書を作らなければならぬ。それで幾つか作つて見る思ふやうに出来ない。種々政府も困りまして、今年の二月頃だつたか、一月の末だつたか、時期はよく分りませんが、懸賞を出しまして一等は何でも二萬か、三萬……非常にロシアとしては大き

な金であります。懸賞を出しまして一般に歴史教科書の募集を致しました。この問題には大分困つて居るやうであります。又其の他の學校に参りますると、大體に於きまして實務遍重と云つた方がいゝやうな教育をして居ります。日本あたりでは理論學理の方に遍重して居ると云ふことを新聞に書いて居りますが、私から見るとロシアの各學校と云ふものは餘りにも實務遍重であります。即ち學校を出れば其の翌日から直ちに仕事の出来ることと重點を置いて居るやうであります。併し斯くの如くしたならば、先達もロシアには學者と云ふものが出来ぬぢやないかと云ふ御質問がありました。此の學者の養成につきましては、又特別の方法を講じて居ります。大學を出た者の中國家の必要とする所要人員と云ふものを採用致しまして、さうして之に研究室を與へて、さうして本人の給料と云ふものは別に大したことがありませんが、相當の研究費を出す、さうして所謂一生研究室に飼殺しにする制度を執つて居ります。現在に於きましてはさうした學者はあるやうに聞いて居りませんが、將來一年なり二年なり致しましたならば、斯う云ふ制度をやつてをれば相當の學者が出るのではないかと斯う思つて居ります。又大學あたりの教授の生活を見て居ると日本のあれと違つて居ります。科目によつて違ひますが、要するに一年間生徒に對して授業を……講義を致しますれば、次の一年乃至二年と云ふものは全部休むのであります。講義を休むのであります。遊んで居るのではありません。其の間に講義の準備をするのであります。一年なり二年、研究した後學生に對して講義をする、其の講義が終ると更に一年か二年、休む、斯う云ふ手段をやつて居ります。是は中々いゝ方法ではないかと思つて参りました。

其の次は、先程も食事の時に御質問がありました。ロシアの警察制度はどうなつて居るか云ふお話がありました



が、私も法律なんかのことは餘り能く分りませぬが、要するに昨年度に於てゲー・ペー・ウーと云ふ名前を止めました。從來ゲー・ペー・ウーと云ふものは政治警察を主として居りまして、此の政治警察に關する限り、ゲー・ペー・ウーは總ての判決を處置する権利を有つて居りましたのですが、又刑事警察の方は民警と云ふものがありまして之をやつて居りました。昨年度にゲー・ペー・ウーを廢止すると同時に政治警察と刑事警察と云ふものを一緒に合體致しまして内務省と云ふものを作つたのであります。此の改正の結果、所謂「ゲー・ペー・ウー」政治警察の方は裁判なくして死刑に處することは出来ぬやうになりました。が併し、依然として五年以下の刑と云ふものは、裁判なくして國家權利を以て處置することが出来る。現在ロシヤの法律に依れば七年と十年と銃殺の刑とが裁判を受けた上決定される譯であります。五年以下と申しますと刑の方は少いのでありますけれども、實際犯人の數から云へば九十パーセント近く迄は是で解決する、依然として政治犯人と云ふものは九十パーセント以下と云ふものは裁判なくして處置されるやうになつて居ります。又刑事警察の方を見ると、是は個人對個人の問題と云ふものは極めて等閑視されて居るのであります。又物でも盜られると云ふと、盜られた方が悪くて叱られるのではないかと云ふやうに思つて居ります。唯竊盜と云ふことに就きましては、所謂工場へ行つて工場の物を泥棒して來る、會社へ行つて會社の機械を持つて來るとか、銀行の金を盗んで來ると云ふことは非常に重要視して居りまして、最初の一回位は所謂竊盜罪としてやられますが、之を繰返して居りますと、結局總てのものが國營でありますから、國家の建設事業を破壊する目的を以てやつたと斯う云ふ風に取るのであります。是は半革命罪に問はれて來るのであります。泥棒でも何んでもサボタージをやる。是は政府の建設事業を破壊せんとする行爲であるとして半革命罪

に問はれる譯であります。さう云ふやうにして段々彈壓して居る。さう云ふ所が我々の國と違つて居る點であります。

其の次は、保健の問題であります。ロシヤにも依然として保險に關する社會保險、生命保險、さう云ふ各種の保險の制度がありまして、各人は之に對して加入する義務ありとする迄強制的にやつて居ります。さうしてこゝで私が考へましたのは現に病氣になり、只で直すやうになつて居りますが、其の醫療設備其他に於てはまだく、非常に不完全であります、私の方から醫者が一人行つて居りまして、終始さう云ふ方面に従事して居りましたが、病院に參りまして、醫藥と云ふものが十分にない、甚しいのになると繙帯までない、又藥に致しても少し氣の利いた藥は外國から買はなくちやならぬものだから足りない。梅毒の豫防と云ふものを非常にやつて居りますが、サルバルサンもないと云ふやうな譯で患者は非常に困つて居ります。

併ながら此の醫療と云ふものは國營になつて來ますと、面白いもので、大體に於て、お醫者の大部と云ふものを病氣をやらせない方に使つて居る、病氣をやらせぬやうに國は考へて居る。まあ悪口を云へば、病氣に罹つたものは仕方がない、死んでもいゝと云ふ形であります。お醫者さんは一定の區域を受持つて、自分の受持區域を巡回を致しまして、汚い所を見れば、早期診斷をやり、治すと云ふやうに、所謂病氣をやらせないと云ふ方面にお醫者の大分を使つて居るのが我々の社會と大部違つて居りやせぬかと思ふのであります。

それから次は共産黨のことをちよつと申上げたいと思ひます。共産黨と云ふのは所謂政府の手足になつて働く所の一つの團體であります。即ち一億數千萬の人民に對して政府の政策と云ふものを徹底さすと云ふことを共産黨員の全部が受持



つて居るのであります。共産黨員と云ふものはどう云ふ特権を有つて居るか云ふと、大體に於て其の職分に應じ本人の能力に應ずるが、大體その長の地位を得ることになつて居る。銀行ならば銀行の支配人と云ふものは共産黨員である。此處のやうなレストランに参りますとレストランの親方と云ふものは矢張り共産黨員であり、宿屋に参りますと、女中の頭は共産黨員、斯ふ云ふ風に各共産黨員其者の能力に應じまして、大體に於て長になる資格を有つて居ると云ふのが共産黨員の特長であります。今は少し違つて居りますが、一時は面白いことがありまして、例へば、私と貴方とは同じ技師だ、さうしますと、私は技師で共産黨員だから工場へ行つて工場の長になる。貴方は同じ技師であるけれども共産黨員でないので私の下に付いて居る。所が俸給が違つて来る。昔は所謂武士は食はねど高楊子で、二百ルーブル以上は貰はない。併し君は技師として優秀ならば五百なり六百なり貰へる。過渡期に於きましては——例へば料理屋に参りますと、料理屋の長は昔そこでコックをやつてゐた共産黨員で、其の下の副支配人と云ふのが、昔料理屋を經營して居つた人が副支配人になつて居る。銀行に参りましてさう云ふことがあります。元銀行に居りました者の中の共産黨員が長になつて、昔の支配人が副支配人になつて實際の切盛をやつて行く。——現在に至りましては餘程變つて参りましたが、さう云ふことになつて居ります。それならば、此の共産黨員には誰でもなり得るか云ふと勿論若い青春の情に燃えて居る者はなりたがりませんが、又一方から云ひますと、どうも共産黨員になるのはいやだと云ふ人もある。

要するに共産黨員には規律が嚴重で黨の決議と云ふものは總て服従しなければならぬ。又一遍決められた仕事と云ふものはどうしてもやり遂げなければならぬ。又日常生活に於きまして、一週に二回以上は支部會に出て各種の教育を受け

る、更に受けた教育を一般人民に徹底させなければならぬと云ふ仕事が多いのでありまして、殆ど朝から晩まで働きづめに働いて居ります。少し時間が欲しい、遊びたいと云ふ人間は共産黨員になれない。又なるものの中々骨が折れまして、普通の場合に於ては、共産黨員二名乃至三名の保證人が要る、保證人の推薦に依つて共産黨員になるのでありますが、而も其の推薦を受けた人間も種類に依つて三種類に分つて居ります。候補者になると一年・三年・五年位行狀を監督され、監督が本當に共産黨員として思想も其他の點に於ても十分であると認められた時に初めて共産黨員になるのであります。所が共産黨員になつたらそれで一生安心して居れるかと云ふとなか／＼さうは行かぬ。ちよつと間違があると除名されてしまふ。最近の情勢から致しまして、去年の一月十日から本年の六月一日まで一切新黨員の入黨を禁止致しました。さうして是までの黨員に付きまして非常に綿密な考査をやりましてどん／＼悪い者は除名して居りました。私が出發する迄には、除名せられた全部の人数は固より分りませぬが、部分的に發表された點に依りますと、或る土地では三十パーセント、或る地方では約六十パーセント近くも除名されて居る所があります。従つて現在残つて居る所の共産黨員と云ふ者は粒が宜いのであります。是が又、民衆を感化する上に於て相當の効果を及ぼして居るのであります。從來共産黨員と云ふものは馬鹿に決つてゐていけないと陸口を言つてゐたが、最近になると、共産黨員に對しては、彼等は本當に自分の身を忘れて我々を指導し所謂國家の爲に働いて居るのだと云ふ氣分が一般の人民の方に映つて來て居るやうであります。

其の次はルーブルと云ふのは幾らに當るのかと云ふ御質問がありました。是亦非常に難しい問題。と申しますの



は、時と所に依つてルーブルの價值と云ふものが違つて居ります。早い話が此處の電燈に付きまして、此の眞中にある四角の奴が一箇月一圓と電燈料を假定致しますと、我々の所謂資本主義的に考へますと三つ點けたら三圓だ。所がロシアに行きますと三圓にならない。一つが一圓ならば二つになると——我々の考へでは二圓であります。ロシアでは必ず三圓とか四圓になる。三つ點けると八圓とか十圓になつて居る。又我々の常識から言つたならば、六疊一間一箇月十圓と致しますと二間借りれば二十圓にならないで必ず三十圓とか三十五圓になつて来る。斯う云ふやうに總てのものゝ購買力が違つて参ります。

何故に斯の如くなるかと申しますと、結局先程申上げたと同様個人の消費を節約する、さうして各人の節約した所の電力を工場に送つて之を生産手段に利用する。又石炭ならば、各人の使用する石炭を節約して餘つた石炭を工場に送つて之を生産手段に利用する。斯う云ふことから出て来て居るのであります。是が日本あたりの經濟機構と全然違つた結果が現はれて居るのであります。従つて工場會社の附屬の食堂位で食事を攝りますると此のルーブルと云ふものは相當の價值を有つて来る。然るに料理屋に行くと言棒に高く購買力が非常に減つて来る。斯う云ふ形になつて居ります。現在は一ルーブルを三フランと云ふことにしてやつて居りますが事實私共が明らかに居りますと、所謂ロシアに於ける我々はブルジョアになるのですが、さうなるとルーブルの購買量が減つて参ります。三十錢内外にしかならぬやうになつて参ります。時と場所に依つてルーブルの價值と云ふものが變つて参ります。

先程幹事さんからお話がありました。ロシアは軍備費——軍費に對して一箇年百四十八億と云ふやうな金を、何處から出して来るかと云ふやうな御質問がございましたが、是は國家の豫算を御覽になりますと一見して明かであります。如く、本年度の豫算の總額は七百八十億圓内外だと記憶して居りますが、百億の収入の大部分即ち六百二十億と云ふものは、日本で申しますれば、一種の消費税から取上げて居るのであります。どう云ふものにかけて居るか。申しますれば一番大きいのは矢張り穀物であります。總ての穀物に對して消費税をかけて居る。その次には酒・煙草は勿論バター・肉・植物油・石油・綿等所謂人間の使ふものに對しては全部消費税をかけられるのであります。さうしますと、今ロシアの人口を一億五千萬と假定致しますと一年に一人で四百ルーブル近くの消費税を拂つて居る譯であります。勿論ロシアに於きましては財産と云ふものを認めて居りませぬから、直接税と云ふものは殆どありません。結局所謂大衆課税で行かなければならぬ譯であります。それに致しましても一人四百ルーブルの消費税と云ふものは相當大きな負擔であります。私は經濟のことはよく分りませぬが、兎も角それならばそれ程消費税がかゝつて居つたならば、品物と云ふものは非常に高くならなければならぬと思ふのですが、思つたよりは高くなつてゐない。それを考へて見ますと、此の消費税なるものは、我々が日本で云ふ消費税プラス資本の利潤に對する割當だ、斯う云ふものがなつて居るのぢやなからうかと斯う云ふやうに感じて居るのであります。兎も角一年平均四百ルーブルを負擔すると云ふことは非常な負擔でありまして、實際に於きましては、人民の日々の生活は先程申しました如く良くなつたと申しますけれども、之を我々の現在の生活に較べましたならば尙ほ々々大きな開きが現在に於てもあるのであります。

先づ其の位に致しまして軍備に就てちよつと簡単に申上げます——是は新聞で書きましたし此處で申上げる必要もない



かと思ひますが、極く簡単に申し上げます。

それは建國以來最も彼等が重點を施行し而も終始之に施行して居りましたのは矢張り國防の問題でありました。従つて軍備其物に於きましては、他の部門に比較して異常なる發達を致して居るのであります。特に最近の國際情勢に刺戟されまして、擴張計畫の充實と云ふ點に於ては誠に目覺しいものがあるものであります。單に數字に就て申し上げますと、從來ロシアには民兵制度と正規兵制度と二色制定して居りました。彼等の理想と致して居りました所謂經濟的軍備即ち民兵制度を第一義として今日まで進んで來たのであります。過去十數年の經驗と國際情勢の窮迫並近代性の突發性と云ふやうなことから民兵制度に依つてロシアの國防を負擔さすと云ふことは非常な困難である、且つ危険であると云ふことの結論に到着致しまして、從來赤軍の兵力と云ふものは増加して居りましたが、愈々本年度は百三十萬まで増加すると云ふことになつたのであります。僅かに數年前迄には五十六萬位しかありませんでしたが、七十四萬になり昨年の暮には九十四萬まで殖やして參りました。此の九十四萬から百三十萬に擴張すると云ふのであります。之にゲー・ペー・ウーの軍隊と所謂民兵交替部員と云ふものを加へますと、優に百六十萬を突破する所の常備軍を編成したのでございます。又裝備方面に於きましては、飛行機・戰車と云ふ方面に非常に努力を拂ひまして、三十一年頃には千六百臺のものが昨年度の末までに五千機以上整備致しました。又戰車に致しましても三十一年頃には五百臺位しかなかつたのであります。是も遂次増加を致しまして、昨年の末には四千八百臺を整備することになつたのであります。特に其の空軍に於きましては其の數に於きましても質に置きましても正に歐洲第一の空軍を編成したのであります。現に東歐方面を威壓し極東に對し

ましても相當の波紋を起しつゝあることは皆さん御承的の通りであります。彼等が空軍に着目して建軍以來非常に努力を拂つて、斯の如き立派な空軍を編成したと云ふことの活眼に對しては敬服するの外はないのであります。彼等の將來の指導方針と云ふことを考へて見ますと、極めて巧妙であります。即ち彼等の抱懷致して居ります所の將來戰なるものは、從來の如く第一線の勝敗に依つて戰爭の結を求めるといふことは殆ど不可能である。又戰場なるものは、從來第一線から其の後方若干距離即ち常識的に申しますと、大砲の聞える迄の間を戰場と考へて居つたが、將來の戰場なるものは、第一線から首府に至る迄全地域が戰場でなければならぬ。而も戰爭をして最も早く解決に導くには、國の中心部に騒亂を起して階級闘争に導き、之に依つて國民の戰爭遂行意思と云ふものを挫折さして、之を第一線に波及することが戰爭に打勝つ一番の近道だと彼等は考へて居るのであります。従つて一旦事ある時に直ちに敵國の重要部分に對して爆撃を行ひ、そこに騒亂を起すに便利である所の空軍特に成るべく大きくさうして航続時間の長い飛行機の整備に重點を置くといふことは自然のことです。是は兎も角彼等が空軍に着目して、今日斯の如き空軍を造つたと云ふことに對しましては寧ろ敬服するの外はない有様でございます。従つて斯の如き老なる軍備擴張になり、自然軍費も亦驚異的增加を示して居るのであります。僅に一九三三年頃迄には十五億位の軍事費であつたのが昨年度は一躍八十二億と云ふ増加を示して參り、更に本年は百四十億と斯う云ふ老なる豫算で造ることになつたのであります。お斷りして置きますがロシアの會計年度は曆年と一致して居ります。而も本年度彼等が是だけの軍事費で満足するや否やと云ふことは非常な疑問であります。と申しますのは、一昨年の豫算査定當初に置きまする軍事費は十億内外であつたのが、年度末迄には五十億約三倍の五十億を



使つて居ります。續いて昨年度の豫算査定当初に置きます数字は六十三億内外でありましたが、實際年度末には八十億使つてしまひました。是等を考へます時に、自然本年度も十億乃至二十億の増加を見るのではなからうかと思つて居ります。是亦國防費そのものから考へましても僅に三年前までは、先程申上げました如くロシヤの人口を一億五千萬内外と致しますと一人平均十ルーブル内外の負擔であつたものが、僅か三箇年の間に其の十倍即ち百ルーブルの國防費を負担せなければならぬと云ふことになりました。此の数字だけに付てお考へ下さいましても如何に彼等が凡ゆる困難に打勝つて障害を排除して前進しつゝあるかと云ふことがお分りになるかと思ふのであります。

序に極東方面に付て申上げますと、只今申上げました如く、全般的の兵力の増加に較べまして極東方面に於ける兵力も異常な増加を示したのであります。滿洲事變當時に於きましては僅に極東の兵力は七萬内外でありましたが、是も非常な急角度を以て増加致しまして、現在に於ては二十四萬を算するに至つたのであります。更に本年度から國境の旅團は戰時編制に近い平時編成を取ると云ふことになりまして、丁度私が歸ります時にも、どん／＼極東に補充兵を送つて居りました。若し是等の編成要員と云ふものが完結致しますると三十萬内外を算するのではなからうかと思つて居ります。師團數に致しましても僅に六個師團のものが現在に於ては十五個師團内外あります。兵舎なども百五十内外のものが現在に於ては九百近く殖やして参りました。從來極東に置きます所の軍隊はウラル以東を特別極東軍と稱しまして一人の指揮官の統率下に入れて居つたのであります。先程申上げました如く、極東兵力の増加に連れまして、之を一人の指揮官で指揮することは極めて困難となつて参りました。そこで昨年の秋にザバイカルを以て此の管區を二つに分けまして、こちら

をザバイカルこちらを特別極東軍と云ふことに致しました。全く二つのものを設けました。ザバイカル軍管區に於きましては「チタ」「ゲウリヤ」に大部の兵を集結致して居ります。特別極東軍に於きましては、大體に於きましてブラゴエチエンスクを中心とする一地域、ハバロフスクを中心とする一地域、ニコリスク、浦鹽斯德を中心とする一地域、即ち此の三つの團體に分れまして、大體滿洲國の周圍を包圍する所の體勢を整へたのであります。特に我々が注目を要しますのは、此のニコリスク、浦鹽附近でありましてニコリスクに飛行機の根據地を造り、浦鹽を中心に潜水艦の根據地を造りました。以前は浦鹽に直接防禦の要塞を設けて居つたのであります。最近に於きましては、此の要塞をやめて、興凱湖江からソ滿國境に副ひまして、御承知のトーチカ陣地を造つたのであります。是は一年半ばかり前に大體完成しましたが、現在に於きましては、浦鹽の海面の防備に非常に力を致しました。斯う云ふ地形に於きましては一旦事ある時にはどうしても出て來なくちやならぬ姿勢にありますから、之を其の際に於きます所の攻撃の據點にすると云ふ目的を以て造つて居るのであります。又一方に於きましては又一旦事ある場合には、ニコリスクから丁度日本の一角に對して爆撃することの出来る所に多數の飛行機を整備致しまして、又潜水艦に依つて大陸との連絡を脅威する爲の姿勢を整へたのであります。要するに此等の點に就いては我々と致しましては、相當注意しなくちやならぬと考へて居ります。

其の次は交通状態であります。北滿鐵道賣却後、ロシヤは北からハバロフスク、ニコリスクに至る所の單線を複線にすることに非常な努力を拂つたのであります。もうハバロフスクは全部複線が完成致しまして現在複線輸送をやつて居ります。ハバロフスクからニコリスクの間は、一面に線路の兩側に勞働者を配置致しまして——私が通つて居る時に窓から



眺めますと、非常な勢ひを以て複線工事を行つて居ります。その他浦鹽——ハバロフスク間には立派な鋪裝道路が構築されて盛んに車輛が往復して居ります。

大變長くお話申上げて恐れ入りましたが、私の講話は之を以て終ります。尙ほ要するにも一言申上げたいと思ひますことは、斯の如くロシアが急激に國力が發展致しました原因は抑々どこにあるかと云ふことを考へて見ますと、結局先程申上げました獨裁政治經濟機構に俟つことは極めて大であります。特に斯の如く急速なる進歩をしたと云ふことは、結局私は第一次五箇年計畫の間、一億數千の人民が、自分の意思であらうとなからうと、兎も角食物も制限され着物も着ず、飲みたい物も飲まずに來た其の結晶なんだ。これが今日の斯の如き力を興へたのではなからうかと觀察致しました。又過去に於きましても現在に於きましても、是等爲政者が燃ゆるが如き信念を持ちまして凡ゆる障害を排除し凡ゆる困難に打勝つて、さうして一億數千の民を引摺りながら此の建設事業に従事して居る緊張振りと言ふものは、内地にお出での方には想像が及ばないだらうと思つて居ります。一言語を換へて申しますならば、彼等は所謂戰時状態を以て總てのものを進行させて居るのであります。是も國境を接して居ります國と致しましてはどうしても吞氣な氣分で以て之に對抗することは出来ない。吾々は或る程度戰事状態の氣分を以て、之に對抗して行かなければ、結局、折角成立した滿洲國は躍進途上にある我國も再び彼等に壓迫せらるゝ様な時期が近い將來に來るのではなからうかと杞憂の念にかられて居る次第であります。

御清聴を感謝致します。之を以て終りと致します。

14.5  
53



14.5  
53



終